

## 当院において2010年1月1日から2023年6月30日に頭頸部外科、耳鼻咽喉科で病理検査をお受けになられた患者さんへ

当院では「唾液腺腫瘍の細胞診断における転写因子EN1の有用性に関する研究」を実施しております。私共は2010年1月1日から2023年6月30日に当院頭頸部外科、耳鼻咽喉科で病理診断を受けられた患者さんの病理検査用の検体の一部を用いて研究を行っております。保管されている検体を使用する研究ですので、患者さんお一人ずつの直接のご同意は頂かず、このお知らせをもって当院に通院中の患者さんからのご同意を頂いたものとして実施させていただきます。患者さんにおかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へご協力をいただければ幸いです。本研究にご協力いただけない場合でも不利益を受けることはありません。この研究へのご参加をご希望なされない場合、あるいは研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### （１）研究の概要について

承認番号： M2023-132番

研究題名： 「唾液腺腫瘍の細胞診断における転写因子EN1の有用性に関する研究」

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から2026年3月31日

実施責任者： 東京医科歯科大学病院病理部准教授 明石 巧

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 電話：03-5803-5661

E-mail: akashi.path@tmd.ac.jp

### （２）研究の目的について

唾液腺には分泌腺に由来する特有で様々な種類の腫瘍が発生し、その中には診断の難しい腫瘍もあります。腫瘍細胞に発現している蛋白質の種類を調べることによって唾液腺腫瘍の種類を診断できるか検討する基礎的な研究です。この研究の結果をもとに唾液腺腫瘍のより正確な病理診断を目指しています。

### （３）研究の方法について

患者さんから手術によって取られた腫瘍は、当院の病理部において腫瘍の種類を診断するため病理検査が行われます。私共はこの検査が終わった患者さんの細胞や臓器組織の一部を用いて、細胞の分化を調節している蛋白質（EN1転写因子）について研究を行います。細胞あるいは4ミクロンの厚さに薄切した組織検体をスライドガラスに貼り付け、研究の対象となる蛋白質（EN1転写因子）の発現を特異的な抗体を用いて可視化して解析します。本研究で用いる臨床情報は年齢、性別、病変の部位、再発の有無です。この研究は腫瘍細胞の特質を調べるものであり、病気のかかりやすさなど患者さんの遺伝的な体質を調べるも

のではありません。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

研究に利用した試料・情報は当院病理部の所定の保管場所に准教授である明石を責任者として規定に従って研究成果の発表後 10 年間保管します。検体は患者さんの個人情報（氏名、住所など）とは完全に分離し、個人の特定はできないようにした形で研究を行っておりますので、研究の成果を国内外の学会・学術誌等で発表する場合でも個人情報が漏れる心配はありません。資料を他の研究に二次利用することはありません。

(5) 費用について

本研究に参加していただける場合でも新たな費用負担や謝礼は生じません。本研究にご協力いただけない場合でも不利益を受けることはありません。

(6) 研究資金と利益相反について

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。

(7) 問い合わせ先

東京医科歯科大学病院病理部准教授 明石 巧

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 電話：03-5803-5661 （平日 9:00～17:00）

E-mail: akashi.path@tmd.ac.jp

(8) 苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務係。03-5803-5096 （対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）